

## 目的

本研究所は、本学の人間発達科学をテーマとする学内教員を組織し、人間の発達と教育に関する総合的、国際的な研究拠点を構築することをめざして、2016年4月に設置されました。

人間発達に関する基礎研究と実践研究・臨床研究を結びつける中から、革新的・効果的な成果発信と提言をおこない、子ども達の教育的・社会的格差の解消を志向する研究などを含め、少子化を質的・量的に改善する施策や、子どもから青年期以降までの発達の質の向上に向けた施策の策定に貢献することを目標としています。

お茶の水女子大学

人間発達教育科学研究所

Institute for Education and  
Human Development



健やかで活力ある人生を作る「こころ」と  
「からだ」の健康イノベーション創出  
—人間発達教育科学研究所による  
研究と実践—

<http://www.cf.ocha.ac.jp/rchde/>

## 組織と研究内容

### 「教育・保育実践研究部門」の研究事業

#### 教育実践研究

アクティブ・ラーニングに代表される試行的な教育方法や幼小中高大の教育的接続を有効にするシステムやカリキュラムの研究を行います。

#### 保育実践研究

保育の質の探求ならびに認定こども園のカリキュラム研究、現職保育者の学び直しのためのカリキュラム研究を行います。社会人学び直し講座も開設します。

### 「人間発達基礎研究部門」の研究事業

#### 発達基礎研究

子ども期の家庭の経済的状況、家族関係、メディアなどの養育環境が子どもの発達やQOLに及ぼす短期的・長期的な影響に関する追跡研究、思春期・青年期の健康行動の発達など心身の健康と発達に関する基礎的研究を展開します。

#### 教育的・社会的格差研究

子どもに供給される保育や教育にあらわれる格差とその発達への影響に関する長期追跡研究、アジア・アフリカを中心とした国際比較研究を実施します。生涯発達に及ぼす社会的格差の問題について検討を行い、子ども達の教育的・社会的格差の解消に向けた提言を行います。

### 「発達臨床支援研究部門」の研究事業

#### 発達障がい児/者への支援研究

発達障がい(自閉症スペクトラム、注意欠如多動症など)を有する子どもや青年への支援に関する調査研究や、教育現場および地域における支援プログラムの開発研究をおこないます。

#### ひきこもり支援研究

東京都の委託事業であるひきこもりサポートネットの運営とひきこもりに関する調査研究をおこないます。

## 研究成果の発信

学術的論文・著書の公刊を中心に、研究成果を積極的に発信し、施策の策定に貢献します。

公刊された論文・著書に基づいたプレス・リリースや年1回の成果報告会、研究所年報を発刊します。専門家や現職者を対象とした、当研究所所属の研究員等によるセミナーや講習会の開催、一般市民を対象とした講演会の開催、パンフレット・一般書の発刊も積極的におこなっていきます。



## 人間発達教育科学研究所 構成メンバー

所長: 教授 菅原ますみ(発達精神病理学)

教員: 教授 宮里暁美(保育学)  
准教授 上原 泉(発達心理学)  
特任講師 内海緒香(教育心理学)

研究員:

教授 大森正博(消費者経済学)  
教授 大森美香(健康/臨床心理学)  
教授 小玉亮子(教育学)  
教授 坂元 章(社会心理学)  
教授 坂本佳鶴恵(文化社会学)  
教授 篁 倫子(発達臨床心理学)  
教授 浜口順子(保育学)  
教授 浜野 隆(教育開発学)  
教授 平岡公一(社会政策論)  
教授 耳塚寛明(教育社会学)  
教授 米田俊彦(教育史)  
准教授 青木紀久代(発達臨床心理学)  
准教授 伊藤亜矢子(学校臨床心理学)  
准教授 刑部育子(幼児教育学)  
准教授 富士原紀絵(教育方法学)

事務局:

特任アソシエイトフェロー  
田村恵美(教育学)  
特任アソシエイトフェロー  
松本聡子(環境心理学)  
アカデミックアシスタント  
猪股富美子(メディア社会学)